

## 腹部超音波診断におけるサインと用語

虎の門病院 消化器科 竹内 和男

### 【講演概要】

超音波診断の際に使われるサインや用語には、多くのものがあります。その中には、超音波像の特徴を単に文字で表現したにすぎないものから、ある特定の疾患や病態を意識して用いるものまでさまざまです。ですから、その意味するところを心得ていないと、たとえば『モザイク・パターンを呈する肝転移が認められ・・・』といった初歩的な誤りをおかすこととなります。サイン・用語は、超音波診断にたずさわる人たちの共通理解に立って用いられるべきものであり、原著にのっとりその意味を正しく理解しておかねばなりません。

今回、肝胆膵領域の超音波診断でよく用いられるサインや超音波用語について、bull's eye sign, shotgun sign など world-famous で広く一般的に用いられているものから、mesh-work pattern, portal sandwich sign など学会で提唱されて間もないものまで、知っておくと診断に役立つと思われるものを 30 ほど取りあげ、解説を加えました。

### 【質問 1】

超音波に関するサインは本当に多数あります。所見を記載する際、比較的知られているサインは問題ないのですが、そうでないサインを記載するのは躊躇します。貴院では何かガイドラインがありますでしょうか？

### 【回答 1】

超音波医学会の『医用超音波用語集』がガイドラインの基本ですが、それに加え、筆者が 20 年来超音波医学会で見聞きし、実際に有用と思われるサイン・用語をまとめて解説を加えた著書（『腹部超音波診断で知っておきたいサインと用語』、チーム医療、1994）を、私ども超音波検査室ではガイドブックとして用いています。

### 【質問2】

日本住血吸虫症における network pattern の機序を教えてください。

### 【回答2】

日本住血吸虫症で見られる network pattern は、本症での病理学的特徴である septal fibrosis や pipe-stem fibrosis に起因するものです。しかし、単なる繊維化や結合織増殖だけではこのような目立った所見にはなりません。繊維化の内部に存在する無数の石灰化した虫卵結節がエコー輝度の上昇をもたらすため、輝度の高い特徴のある網目状の所見として観察されるわけです。ちなみに、虫卵の石灰化が10%以下と低い場合は、著明な繊維化があっても典型的な像とはならないといわれています。

### 【質問3】

胆嚢壁に comet-like echo が1つ認められても胆嚢腺筋症と診断可能でしょうか？

### 【回答3】

胆嚢壁の comet-like echo が1つだけでは胆嚢腺筋症とは診断できません。胆嚢腺筋症と診断するためには、あくまでも特有の胆嚢壁肥厚や形態変化、および肥厚した壁内部の小cystic spot（大きめの Rokitansky-Aschoff 洞を反映し、comet-like echo をしばしば伴う）の存在が必要です。

ご存知のように、comet-like echo の本態は、微小構造物内での多重反射です。腺筋症では Rokitansky Aschoff 洞そのものや、その内部の濃縮胆汁～結晶、壁内結石などがエコー源となっていますが、腺筋症のない胆嚢でも壁内の肉芽腫やコレステリン結晶などが comet-like echo の成因となった例も知られています。（良性所見だけに、この辺の検討は十分なされていません。）したがって、comet-like echo は腺筋症の見つけだしに役立つ有用な所見といえますが、それのみでは腺筋症と診断はできないわけです。